

各位

全2ページ
登録速報(2025-058)
2025年 2月 12日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部 普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。
適用拡大登録年月日：2025年2月12日

記

1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第20871号

名称：カルタイムフロアブル（北海道限定）

2. 変更の内容

農薬登録申請書第7項「適用病害虫の範囲及び使用方法」中、以下を追加または変更し、別紙【変更後】のとおりとする。

- ・ 作物名「小麦（春播栽培）」及び「小麦（秋播栽培）」の希釈水量「100L/10a」を「通常散布 100L/10a」に変更する。
- ・ 作物名「小麦（春播栽培）」の希釈水量に「少量散布 25～50L/10a」を追加する。
- ・ 作物名「小麦（春播栽培）」の使用 방법에「無人航空機による散布」を、希釈水量「0.8～1.6L/10a」にて追加する。
- ・ 作物名「小麦（秋播栽培）」の希釈水量に「少量散布 25～50L/10a」を追加する。
- ・ 作物名「小麦（秋播栽培）」の使用 방법에「無人航空機による散布」を、希釈水量「0.8～1.6L/10a」にて追加する。
- ・ 適用土壌および適用地帯の記載を削除する。

3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容

農薬登録申請書第8項「使用上の注意事項」中、以下の3）、4）を追加し、以降を繰り下げ、別紙【変更後】のとおりとする。

【追加】

3) 少量散布の場合は、少量散布用ノズルを用いて、葉面に均一に散布すること。

4) 無人航空機で散布する場合は次の注意を守ること。

①散布は散布機種¹の散布基準に従って実施すること。

②無人航空機による散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。

③散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検をおこなうこと。

④水源池、飲料用水などに流入、飛散しないように十分注意すること。

⑤散布終了後、機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。また使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄すること。

7. 適用病害虫の範囲及び使用方法
【変更後】

作物名	使用目的	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	プロヘキサジオンカルシウム塩を含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
<u>小麦</u> (春播栽培)	茎稈の伸長抑制による倒伏軽減	止葉期～出穂始期	150ml/10a	<u>通常散布</u> 100L/10a	1回	茎葉散布	1回
				<u>少量散布</u> 25～50L/10a			
				<u>0.8～1.6L/10a</u>			
<u>小麦</u> (秋播栽培)		150～200ml/10a	<u>通常散布</u> 100L/10a	茎葉散布			
			<u>少量散布</u> 25～50L/10a				
			<u>0.8～1.6L/10a</u>				
大麦(裸麦を除く)	出穂10～5日前	150ml/10a	100L/10a	茎葉散布			

8. 使用上の注意事項
【変更後】

- 1) 本剤は貯蔵中に分離することがあるが、使用に際しては容器をよく振ること。
- 2) 伸長を過度に抑制させないために、必ず所定の使用量、使用時期を厳守し、多量散布や重複散布にならないように注意すること。なお、使用時期における止葉期とは、止葉が確認できた日を目安とし、出穂始期とは出穂が確認できた日を目安とする。
- 3) 少量散布の場合は、少量散布用ノズルを用いて、葉面に均一に散布すること。
- 4) 無人航空機で散布する場合は次の注意を守ること。
 - ①散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ②無人航空機による散布にあたっては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検をおこなうこと。
 - ④水源池、飲料用水などに流入、飛散しないように十分注意すること。
 - ⑤散布終了後、機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。また使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄すること。
- 5) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上